

## 点数配分について

## 1 現状の考え方

- ① 運営実績（書面審査・実地審査）と事業計画を、1：1で評価する。
- ② 運営実績において、書面審査と実地審査を1：2で評価する。

<現状の点数配分（換算後）>

	②		①
	書面	実地	合計
運営実績	25 (33.3%)	50 (66.7%)	75
事業計画	75	/	75
合計	100	50	150

\* ( ) は運営実績の合計点数（75点）に占める割合

## 2 換算せずに評価する場合の課題

- ① 運営実績と事業計画を1：1で評価することができない。  
（事業計画の比重が下がる）
- ② 運営実績において書面審査と実地審査を1：2で評価することができない。  
（実地審査の比重が下がる）
  - ・ 点数比率を維持するために審査項目数を調整することは適切と言えない。

<換算前の点数配分>

	②		①
	書面	実地	合計
運営実績	54 (42.2%)	74 (57.8%)	128
事業計画	90	/	90
合計	144	74	218

\* ( ) は運営実績の合計点数（128点）に占める割合

## 3 本市の考え方

- ① 運営実績（書面審査・実地審査）と事業計画の点数配分1：1を維持する。
- ② 運営実績における書面審査と実地審査の点数配分1：2を維持する。

<点数配分の割合>

	②		①
	書面	実地	合計
運営実績	1	2	3
事業計画	3	/	3